

公開講座 第37回心身症セミナー 報告

先に実施しました公開講座「心身症セミナー」について下記のとおり報告します。また、あわせてご参加いただいた皆様、運営にご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

1 第37回心身症セミナーの概要

日時 令和6年2月20日（火） 午後2時10分から午後5時

場所 堺市立榎文化会館

対象 府内の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、支援学校の教員及び教育関係者

内容 テーマ「不登校を伴う子どもの心身症に対する理解と対応」

(1) 実践報告「不登校支援について」

河南町立近つ飛鳥小学校 養護教諭 柳原 萌乃

河南町立近つ飛鳥小学校の不登校支援の取組として、校内フリースクールである「なないろ」の立ち上げと運営についての紹介とふたりの事例について発表があった。「なないろ」が、保健室登校をしていた子どもたちの受け皿になるとともに、教室への一歩を踏み出すための重要な居場所になっているとの報告があった。最後に、持続可能な支援のための「チーム学校」の大切さをお話しされた。

(2) 「不登校を伴う子どもの心身症に対する理解と対応」

堺咲花病院 心身診療科医師 村上佳津美

はじめに心の問題についての説明があり、不登校の現状と対策について解説があった。学校と医療、福祉の連携の必要性を述べられ、お互いの立場を尊重しつつ、それぞれがどんな治療や教育を行っているか、ある程度理解する必要があると述べられていた。心身症の代表例として、起立性調節障害、過敏性腸症候群の説明があり、症状や治療、配慮事項を含めて解説があった。また、積極的に取り組まれている「思春期こころの健康検診」の具体的な説明があり、医療機関、福祉機関との連携や学校での対応に繋げる取組みについて解説があった。質疑応答では、「思春期こころの健康診断」実施方法への質問があり、参加者の強い関心が感じられた。

2 アンケート結果報告（アンケート回収120名、未回収13名、回収率90%）

(1) 参加者

外部から133名の参加があった。（幼・保0%、小学校66%、中学校20%、高等学校3%、支援学校9%、その他・未回答2%）の参加があった。

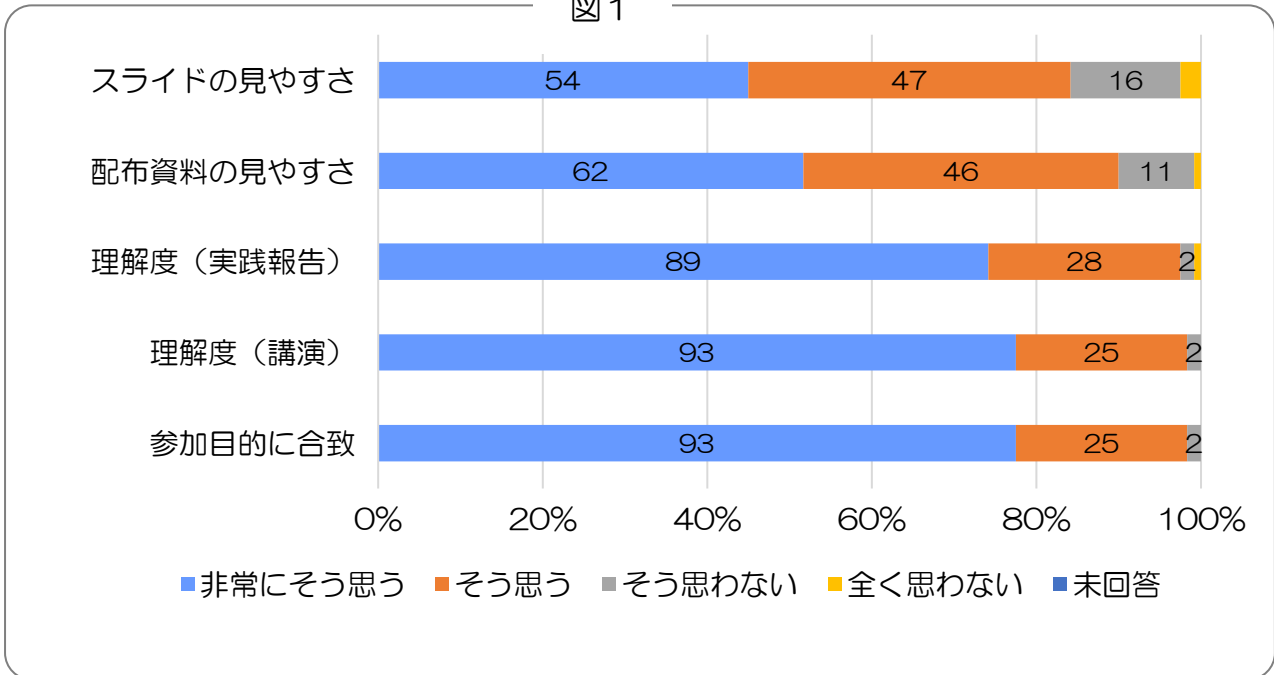
職種では、教諭・講師・保育士が最も多く55%、次いで養護教諭・助教諭が38%、管理職が6%であった。

所属	幼・保	小学校	中学校	高等学校	支援学校	その他	未回答	合計
(人)	0	79	24	4	11	2	0	120

職種	管理職	教諭・講師・保育士	養護教諭・助教諭	その他	未回答	合計
(人)	7	66	45	2	0	120

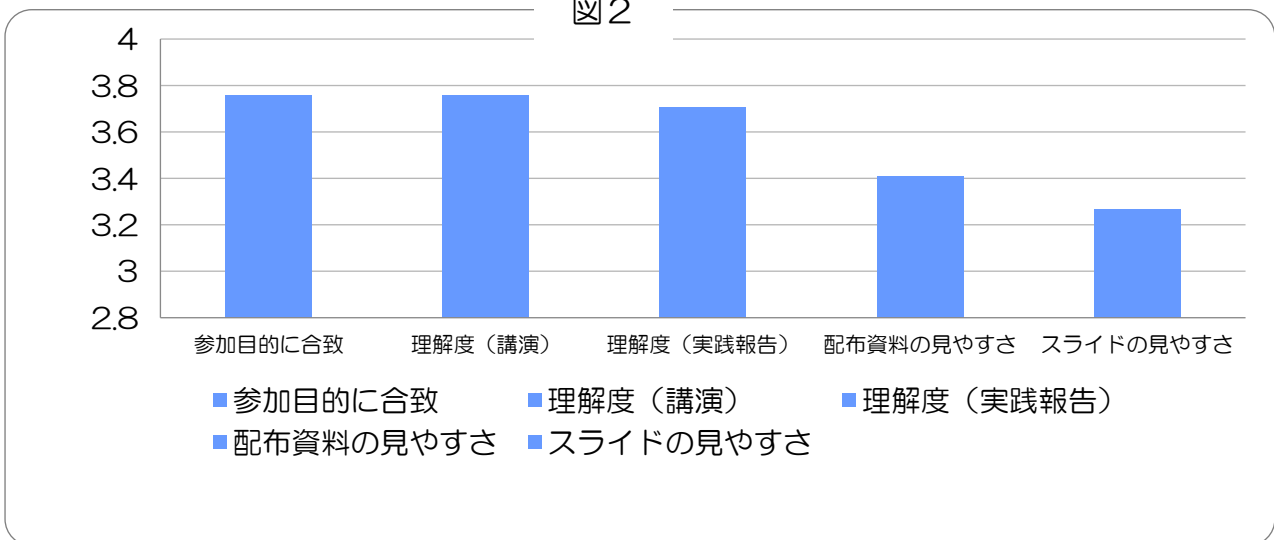
(2) セミナーの内容について

図1



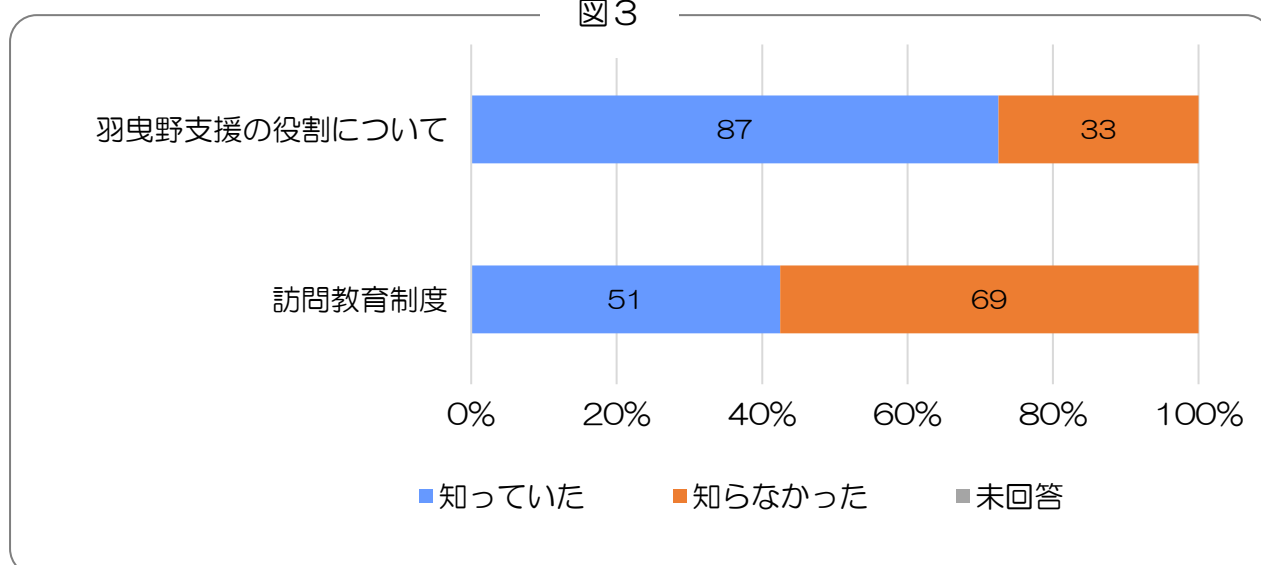
アンケートを4点法で集計。平均点 3.2 点以上が肯定的評価である。

図2



(3) 羽曳野支援学校の役割と訪問教育制度について

図3



3 考察とまとめ

- (1) 昨年度は新型コロナ感染予防のため、募集人数を減らして実施したが、5類感染症移行に伴い、例年多数の申し込みがあるため、募集人数を増やして実施した。所属では小学校からの参加が増えたことから、不登校や心身症の低年齢化がうかがえた。職種では養護教諭・助教諭の参加が増えたことから、学校全体での支援の広がりを感じた。
- (2) 図1と図2からどの項目についても3.2点を超えており、参加目的に合致しているかどうか理解度に関しては3.7以上で好評であった。
- (3) 質疑応答では、具体的な事例に対する質問のほか、「思春期こころの健康診断」実施方法に関する具体的な質問があった。